

令和6年度 香美町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

医療・介護等との連携

- ・ 認知症ネットワーク会議の運営
- ・ 医療（認知症疾患医療センター・かかりつけ医等）機関との連携
- ・ 認知症初期集中支援チームにおける他職種間連携・調整
- ・ ケアマネ支援（認知症のアセスメント力の向上・課題整理等の助言・提案）

本人・介護者支援

- ・ 香美町オレンジロード（ケアパス）の普及活動
- ・ 認知症カフェでの本人支援・相談できる場の確保
- ・ らく楽介護教室の企画・運営（認知症に関する介護負担の軽減のための教室）

相談支援・支援体制整備

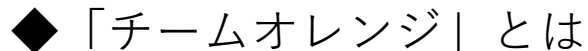
- ・ 認知症初期集中支援チームの企画・調整
- ・ もの忘れ相談日の実施
- ・ にこにこかえるネットワーク（SOSネット）活用による、地域連携の強化

報告者氏名: 谷渕 奈緒美

香美町 認知症施策全体図

目標	目標の具体案	事業名
Ⅰ) 地域住民が認知症を正しく理解し、見守り支える人が増える	a)キャラバンメイトと認知症サポーターの養成	①認知症サポーター養成
		②チームオレンジの活動支援
	b)広報・行政放送・イベントの啓発活動	③広報（いきいき通信）
	c)地域講演会等	④講演会・展示
Ⅱ) 認知症の人と家族支援	d)認知症ケア従事者のスキルアップ	⑤事業所向け研修会
	e)医療と介護、地域との連携	⑥医療・認知症疾患センターとの連携
		⑦グループホーム連絡会
		⑧民生委員定例会での意見交換
	f)早期からの相談支援体制づくり	⑨認知症施策ネットワーク会議
		⑩もの忘れ相談日（月1回）
		⑪認知症初期集中支援事業
		⑫若年性認知症サポートブックの普及
		⑬ケアパスの普及
Ⅲ) つながりを生かしたサービスや活動を住民ができる	g)認知症予防と生きがいづくり	⑭元気体操サークルの普及
	h)認知症家族支援	⑮認知症介護教室
		⑯認知症カフェ
	i)安心・安全への支援	⑰にこにこかえるネットワーク （香美町認知症SOSネットワーク事業）

チーム・オレンジ立ち上げに向けた取り組み



(※) 認知症地域支援推進員を活用しても可



- ### チーム員の役割：

見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等

【事例紹介】

毎週、地区の公民館で元気体操サークルに参加しているAさん。体操を休みがちになり、家に閉じこもりがちなことを周囲が心配しています。

Aさんの困りごと

なし。

「なんでも自分でできている！体操を休むのは、忘れてたからじゃない！」

地域の困りごと

予定を忘れる。体操欠席した時、電話で教えてあげると怒ってしまった。

コミュニケーションを取りづらい。

「支援したいけど・・・どうしたら良いのだろうか？」

課題：周りから見るとAさんは困りごとが増えているように思うが、Aさん自身はそれを周りに気づかれたくない様子。Aさんが安心して地域で暮らしていくために、できにくいことをサポートすることが望ましい。Aさんの気持ちに沿った支援が必要。



「チームオレンジ
Aさん」立ち上げ



1	本人へのアセスメント訪問
2	本人をすでにサポートしてくれている人や地区の区長・福祉委員・民生委員等・（家族）に集まってもらう。
3	本人の特性や望ましい対応について話し合う。
4	Aさんの気持ちに沿った支援を行う

最後に・・・

認知症当事者のチームオレンジを早期に作ることで、支援者一人に負担のかからない支援体制づくりができる。今後もケースを通して町全体にチームオレンジの活動を広めていきたい。